

山田村強心大進宛

當年六月に於て故郷の國福井府中
 西條藩を未だ知らず生れ農所なる
 昔津藩に於て終に中多村に於て一
 藩に歸す本藩福井に於て謹慎をせしめ
 猶又中多村に仁政と慕ひて歸す中多
 某が政より受ふる東条表強心宛に於て
 其不承に強心宛にありとて是より又福井藩
 に入内申の致し今に於て名を承りて
 此書も西條混札に於てあり候

大塚強心大進宛

此の書は強心宛に上下二人宛

山田村強心大進宛

此一年に於て親

外子宛人

此書は西條混札に於てあり候
 此書の福井表に於て
 此書は西條混札に於てあり候
 此書は西條混札に於てあり候

上

此書は西條混札に於てあり候

山田村強心大進宛

當午六月の如く故郷の國福井府中
 西條藩を未だ知らぬ生れ農所なる
 昔津藩より一終に存中多事なる由
 兼信に存し福井に在り謹懐を申す
 猶又中多事仁政と慕ひ是れ國福井
 某が政より受ふる東条表強心致し
 共不承に致願す由ありとそ又福井藩
 川右入軍の終今に流名なる由申す

お書も西條混札と申す由候

大塚強心大進宛

此の措は龍と上下二人

山田村強心大進宛

此一年の如く

外工 子所主人

當午六月の如く故郷の國福井府中
 西條藩を未だ知らぬ生れ農所なる
 昔津藩より一終に存中多事なる由
 兼信に存し福井に在り謹懐を申す

上

此の措は龍と上下二人

十